

第17回海洋立国推進功労者表彰受賞者

2. 海洋に関する顕著な功績 分野

自然環境保全 部門

氏名	とまこまいぎよぎょうきょうどうくみあい 苫小牧漁業協同組合	年齢	—	
所属	—			
功績の概要	海洋環境の保全と調和した CCS 実証への協力			

功績事項

日本初の大規模海底下 CCS 実証試験開始にあたり、先行海域利用者としては、万一 CO2 が漏洩した場合の影響に懸念を有していたにも関わらず、平成 22 年に「苫小牧 CCS 促進協議会」が発足した当初から、苫小牧漁業協同組合は会員となり、漁業調整や政府と連携した環境への影響監視などの役目を担っている。



苫小牧市 CCS 実証試験は、北海道苫小牧市の苫小牧港港湾区域の海底下を CO2 の貯留地点としているため、苫小牧漁業協同組合は海域利用者として、漁業関係者への情報提供や苦情対応、事業に関する事前説明・報告・調整など、通常漁協同組合が行う業務の範疇を大幅に超えた内容にも対応し、我が国の海洋における脱炭素への取り組みに地域一体となり貢献した。



海洋生態系把握調査

苫小牧港港湾区域では事業者である経済産業省の調査、海洋環境保全のため規制官庁である環境省の海洋調査も実施されている事から、漁業の操業調整が必要な期間は長くなるが、苫小牧漁業協同組合による周辺漁業協同組合や関係各所への緊密な連携に加え、海洋調査等に係る傭船手配など、多岐にわたる協力をいただいたことで、海域 CCS における円滑な海域利用者との調整や理解において、合意形成を図る良き成功事例となった。



漁船を活用した海洋環境調査の実施（冬季）

調査船への機材搬入

本実証試験の成果として、今後の CCS 事業化を見据え、こうした取組を拡げていくために必要な法制度を整備するべく、「二酸化炭素の貯留事業に関する法律案」について、第 213 回通常国会において可決、令和 6 年 5 月 24 日に公布されたため、このタイミングでの推薦となる。